

「ALWAYS 三丁目の夕日」シリーズ (東京タワー)

日本交通技術株式会社／環境調査計画部
高橋真弓(会誌編集専門委員)
TAKAHASHI Mayumi

作品概要

「ALWAYS 三丁目の夕日」シリーズは、西岸良平の漫画『三丁目の夕日』を原作とする昭和30年代の東京下町が舞台の日本映画である。売れない小説家や自動車修理店の一家、青森から上京してきた少女、母親に捨てられた少年、空襲で家族を失った医者らを中心に、当時の人々の笑って泣いた日々をほのぼのと描いた3部作だ。

シリーズ全ての監督を務めたのは、『永遠の0』『寄生獣』などを手掛けた山崎貴。駄菓子屋を営む売れない作家に吉岡秀隆、その向かいにある自動車修理店の社長に堤真一、その妻に薬師丸ひろ子、住み込み社員に堀北真希、居酒屋の女将を小雪が演じており、豪華な顔ぶれが揃った作品となっている。

貧しいけれど誰もが夢見て生きていたあの頃、その何気ない日常の出来事を通し、駄菓子屋、ちゃぶ台、力道山、タバコ屋のおばあ、街頭テレビなど懐かしいものたちとともに人情が描かれている。そんな物語の重要な背景となっているのが「東京タワー」である。

東京タワーの建設計画

東京タワーは、東京都港区にある高さ333mの当時世界一の自立鉄塔として登場した総合電波塔である。

戦後、日本は様々なテレビ局が開業していったが、各局が建設した電波塔は150mほどの高さで、送信範囲は半径70kmほどであった。また、電波塔の位置がバラバラであったため、視聴者はチャンネルを変えるたびに、アンテナの向きを調整しなければならないので不便であった。さらに、いくつも高い塔が建っていることは、航空管制の面で危険が予想されていた。こうした問題を一気に解決するため、電波塔を一つにまとめた総合電波塔が構想された。しかし、関東一円に電波を届けるためには300m以上の高さが必要で、総合電波塔は夢の話に思われた。

そこに名乗りをあげたのが、実業家の前田久吉であった。総合電波塔の構想を耳にした前田の頭に、はじめに浮かんだのは、京都の東寺にある日本一の高さの木造塔であった。「昔であってもすでにこうである。まして科学技術が伸展した現



写真1 東京タワー



写真2 建設中の東京タワー



写真3 建設の様子

代では、300余mの塔を建てるくらい、あえて至難の技でもあるまいと考えた」と後に述べている。その言葉の通り、日本電波塔株式会社を設立し、東京タワー建設計画を実現へと進めていくのであった。

前田が設計を依頼したのは、早稲田大学名誉教授の内藤多伸であった。彼は、NHK塔以来、日本各地の鉄塔を多数手掛けた塔博士で、耐震建築の父とも言われている。パソコンも電卓もなかった時代、内藤は計算尺を手に3か月もの間、構造計算に明け暮れ、作成した設計図は1万枚に及んだ。

東京タワーの建設

1957(昭和32)年6月に工事が始まり、わずか一年半後の翌年12月23日には完成した。実は、東京タワーの、完成時期は1959(昭和34)年初頭と決められていたため、工事は朝の6時から夕方6時まで行われ、延べ21万9,333名もの人間が携わった。

鷹の職人たちは、鉄骨がクレーンにより所定の位置に運ばれると、接合部の穴に800度に熱せられたリベット(接合用の釘)を差し込み、ハンマーで一気に打ち付け、接合させていった。リベットは、下にいる職人が炉の中で加熱し、長い鉄製の箸ではさみ、受け手のいる上へ投げつける。それを上にいる職人が専用の筒でキャッチする方法で運ばれた。ハンマーで打ち込む際には、強い力で何度もたたく必要があったため、リベットを打つカンカンカンという独特のリズムが連日鳴り響いた。

また、東京タワーに用いられた鉄材は4,000tといわれている。戦後アメリカの軍需物資が日本の民間業者に払い下げられたため、質の良い鉄を大量に手に入れることが可能となった。東京タワーの展望台より上の部分には、アメリカ軍の戦車が鉄材として用いられている。

現在の東京タワー

開業後、東京タワーには多くの方が訪れている。毎晩0時を目安に消灯するライトアップには、消灯の瞬間を恋人と一緒に見ると幸せになれるという「ライトダウン伝説」もあり、0時付近であってもカップルたちが訪れる。そんな東京タワーであるが、2012(平成24)年の東京スカイツリーの開業によりテレビ塔としての役割は終えている。しかしラジオ放送のFM波は送信し続け、東京スカイツリーの予備塔としての役割も担っている。

東京の観光地の一つとして、名高い構造物であり、今でも混雑時には、入るのをあきらめるほどの人でにぎわっている。これからも東京のシンボルとして立ち続けてほしい。

<参考資料>

- 1) DVD『ALWAYS 三丁目の夕日』2005年 東宝
- 2) DVD『ALWAYS 続・三丁目の夕日』2007年 東宝
- 3) DVD『ALWAYS 三丁目の夕日'64』2012年 東宝
- 4) 『東京タワー 99の謎』東京電波塔研究会 2006年 二見書房
- 5) 『東京タワー物語』前田久吉 1959年 東京書房

<写真提供>

- 写真1 金野拓朗 写真2、3、4、5 株式会社TOKYO TOWER
写真6 塚本敏行



写真4 完成時の東京タワー

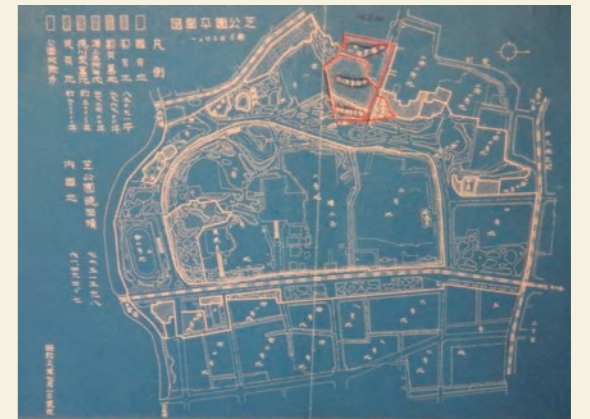


写真5 東京タワー建設予定地の芝公園平面図



写真6 東京タワーの定礎